

富山県鑿井協会 創立20周年記念事業
防災井戸設備を富山県に寄贈

竣工日 平成28年11月16日(水)

設置場所 富山市木場町
富岩運河環水公園内

ポンプ仕様 おかもとポンプ株式会社
手押しポンプ Z〇-Ⅲ-5〇〇



ぼうさいいど
防災井戸について

ぼうさいいど さいがい おとぎ
防災井戸は災害が起きた時に
つか ちかふか
使うものです。地下深くから
みず くあ せいかつ
水を汲み上げてトイレや生活の
ざつようすい つか ふだん ぼうさい
雑用水に使います。普段は防災の
みまも
シンボルとして見守ってください。

使用上の注意
この水はのむことができません。
使用に際し手を洗わないよう気をつけてください。

※手で押すと水が出ます。
マンホール型井戸地千ビット
冬期凍結管に利用
手押しポンプ汲み上げ用パイプ 地下10m
電動汲み上げパイプ 地下30.25m
電動ポンプ
井戸(既存の消防用井戸を利用)

井戸の深さ：地下140m
井戸の太さ：直径 250mm
手押しポンプ：ZO-III (おかもとポンプ製)
汲み上げ量：0.55L/ストローク

富山県 富山県 富山県 富山県 富山県
富山県鑿井協会 創立20周年記念
防災井戸設備 2016年11月16日 寄贈



20th Anniversary

さく せい じん
鑿 井 人

We are "Well Drilling People"!!

安心の暮らしを支える「井戸」

人が生きる上で命の源である“水”。
私たち富山県鑿井協会は、
自然に宿るかけがえのない地下水源の
有効活用と貴重価値を高めるため、
環境にやさしい井戸づくりを提案し、
災害に強い「防災井戸」の普及に
積極的に取り組んでまいります。



【防災井戸設備】竣工落成式

日時 11月16日(水) 午前10時

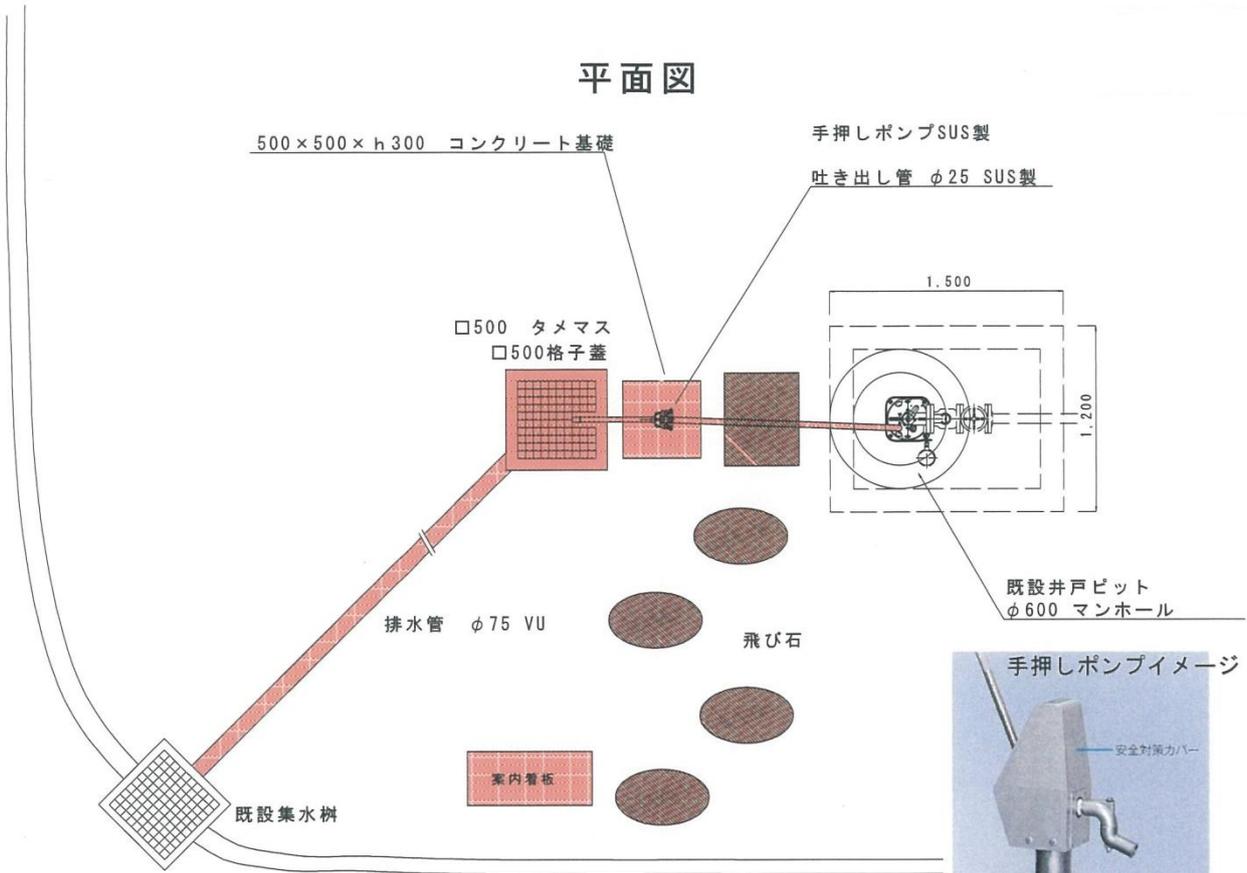
場所 富岩運河環水公園内(富山市湊入船町)
ラ・シャンス駐車場そば

富山県鑿井協会

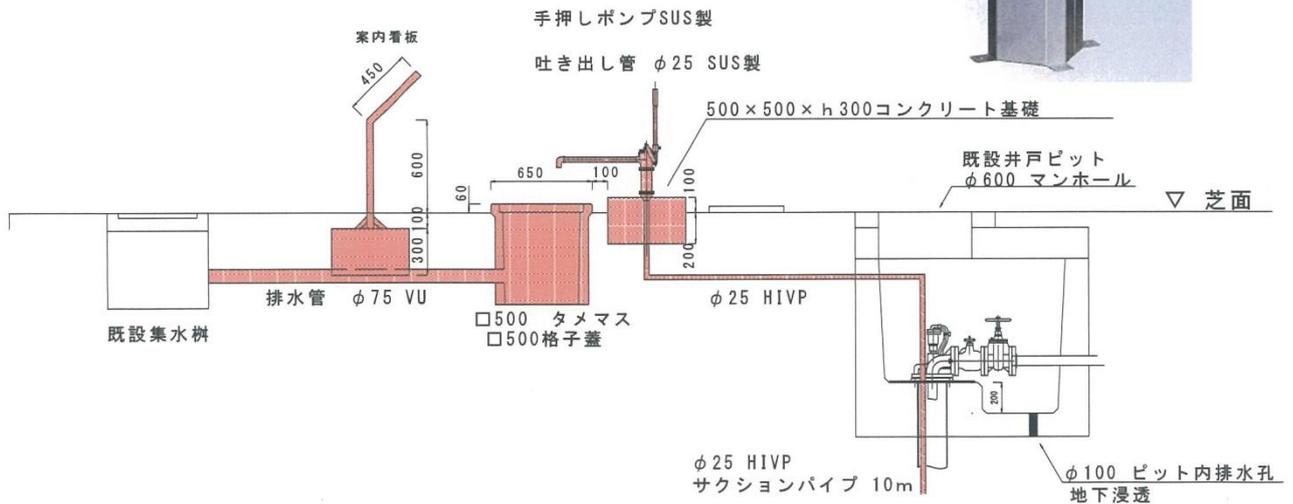
Sakusei A.S. 富山市天正寺1085 TEL (076)421-5225 富山県さく井協会 機関

一真工業(株) 内山鑿泉工業(株) (株)土肥鉄工 (株)中川鑿泉工業所 (株)日東
藤田工業(株) (株)ホクコク地水富山(営) (有)丸さく丸田工業(株) (株)ミナドリリング

平面図



断面図



凡 例

寄付対象物

停電時も手押しで取水 防災井戸 普及に力

災害時の水の確保に役立てようと、**県警井協会（土合拓也会長）**は、停電時でも機能する手押し式ポンプを備えた防災井戸の普及に力を入れている。同会は創立20周年記念事業として、県に防災井戸を寄贈しており、10月上旬から富岩運河環水公園（富山市湊入船町）で設置工事を始める。土合会長は「富山の豊かな水資源を、災害に強いまちづくりに生かしたい」と話す。

県警井協会は井戸工事を専門とする業者が集まり、1996年に設立。現在は県内10社が加盟する。技術向上に向けた研修会に加え、井戸のトラブルに電話やメールで答える「井戸110番」、地下水の大切さをPRする11月10日の「いい井戸の日」の周知などに取り組んでいる。

防災井戸は近年の技術革新に伴い、既存の井戸にポンプを増設するだけで



手押し式ポンプの防災井戸の設置場所を確認する県警井協会メンバー＝富岩運河環水公園

県警井協会 環水公園(富山)に来月設置

設置できるようになった。費用は新たに井戸を掘る場合の3分の1で、通常2〜3週間かかる工期も1週間に短縮できる。

東日本大震災や熊本地震では水道管の破損が相次いだ。井戸は崩れるような被害が少なく、災害に強い水源としても注目されている。

富岩運河環水公園の防災井戸は、同園西側にある消融雪用の井戸を活用する。ポンプのレバーを動かすと、1分間に約20リットルをくみ上げることができ、10月末に完成し、11月中旬からの供用開始を見込んでいる。

同会は、年間を通じて一定の温度を保つ地下水を冷暖房に役立てるエネルギー利用にも着目している。土合会長は「飲料や工業用水、消融雪だけではなく地下水の使い方を提案し、井戸の付加価値を高めた」と事業拡大を目指している。

北日本新聞 2016年9月28日朝刊



熊本の甲佐小中学校に設置されている防災井戸。熊本市の千代田工業提供

防災井戸 16日完成

県警井協会 環水公園(富山)に設置

災害に強い水源地として、手押しポンプを備えた防災井戸が注目されている。4月の熊本地震では、水道の断水に伴い、熊本市内の防災井戸が開放され、生活用水として住民に利用された。県内でも11月16日に富山市湊入船町の富岩運河環水公園に防災井戸が設置される。

防災井戸は停電時でも機能する全国で井協会と、土合拓也会長が県に寄贈した。既存の消融雪用井戸を活用した全国でも珍しいケースとされている。

防災井戸は、熊本市内では甲佐町の小学校や熊本市内の企業前に散見されている。

富岩運河環水公園に設置

富岩運河環水公園の甲佐小中学校に設置されている防災井戸。熊本市の千代田工業提供

北日本新聞 2016年11月1日朝刊



除幕式を行い完成を祝う関係者＝富岩運河環水公園

環水公園に防災井戸

県警井協会 20周年記念し寄贈

井戸工事業者でつくる**県警井協会（土合拓也会長）**が創立20周年記念事業として県に寄贈した手押し式ポンプの防災井戸が、富山市湊入船町の富岩運河環水公園に完成し、16日、落成式が行われた。【webunに動画と写真3枚】

防災井戸は、停電時でも手押しで取水できる。熊本市内では水道の断水に伴い、熊本市内の防災井戸が開放され役立ったことから、災害に強い水源地として注目されている。今回、協会は既存の消融雪用井戸を活用して設置しており、全国でも珍しいケースとされている。

式には協会と県の関係者ら約25人が参加した。土合会長が「東日本大震災や熊本地震では甚大な被害の中、ほとんどの井戸が正常に機能していた。災害に強い防災井戸の普及を今後進めたい」とあいさつ。関係者で除幕し完成を祝った。加藤昭悦県土木部長が「公園への設置は県民の防災意識向上につながる。末永く大切にしたい」と感謝の言葉を述べた。井戸は常時、使うことができる。

北日本新聞 2016年11月17日朝刊